

## 「空回り」による疲労を直視する

- 発信継続中（手は動かしている）
- 投稿作成中 / 学習継続中
- 反応が少ない
- 届いていない感覚
- 空回りの違和感がある
- 努力疲労感を感じている

## 原因は「設計図」の不在

否定すべき焦り

NOT

努力不足ではない  
センス不足ではない

真の課題

CAUSE

設計が未整備

- △ 言葉の地図が不在（迷走の要因）
- △ 相手が不明確
- △ 伝達順序が未整理
- △ 発信意図が分散している

「なんとなく」の発信が意図を薄めています

## その「積み上げ」は出口に繋がっていますか？

### 前進を妨げる「行動の罫」

- × 投稿数を増やせば改善する
- × ノウハウを追加すれば成長する
- × 文章技術を磨けば解決する
- × 強み探しを優先する
- × 情報収集を優先する
- × とにかく行動量で突破する

「設計の後回し」が最も遠回りを生む

## 言葉を届けるための「一貫性」

- 届ける相手（誰に）
- 抱える不安（何を）
- 与える変化（どこへ）
- 言葉の順番（どうやって）

**共感の入口 → 理解の流れ → 行動の出口**

この流れが一本の線で繋がっているかを確認します。

## 反応を止めている「7つのボトルネック」

- △ 相手像が曖昧で、誰にも刺さっていない
- △ 強みが未整理で、選ぶ理由がない
- △ 共感点が不一致で、スルーされている
- △ 誘導導線が切断され、次に進めない
- △ 読者の理解が停止している
- △ 記憶に残らず、忘れられている
- △ 行動が発生せず、未来が変わらない

どこで「読者の足」が止まっているか。

## 再構築のための 7-STEP

- 1 紙を一枚だけ用意する
- 2 届けたい「特定の一人」を書く
- 3 その人の「悩み」を書く
- 4 解決のための「視点」を書く
- 5 最初の「共感の入口」を書く
- 6 最後の「行動の出口」を書く
- 7 今の発信と照らし合わせ、ズレを見る

## あなたを迷いから救う「装置」

### この資料の活用シーン

- **設計確認カード**: 発信前のセルフ点検に
- **読者再定義**: 反応が薄い時の原点回帰に
- **価値再整理**: 自分の言葉に詰まった時に
- **迷走停止装置**: 疲弊を感じた時の強制停止に

構造を再点検することが、結果的に最短距離となります。

納得感を持って、再始動する。

NEXT ACTIONS

- ⇒ 設計全体を整え直す
- ⇒ 特定した「ズレ」を一つだけ直す
- ⇒ 今の発信文を書き直してみる
- ⇒ 読者像をもう一度絞り込む
- ⇒ 導線の接続を確認する

診断で現在地を確認し、止まったら再確認。